

「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」進捗確認・総括についての意見等

基本目標1：香芝における安定した雇用を創出する

- ・「新規創業資金融資制度利用者数」や「審議会等における女性登用率」、「都市計画道路供用済延長」など、目標値までは到達していないものにおいても、指標によっては目標値に対する達成度合い等も考慮した中で評価する必要があると思う。
- ・「商工会主催の創業セミナー参加者数」について、創業セミナーに参加後、当該年度中に起業した人の数ということであるが、起業まで2～3年ほど期間があく場合もあるので、算出方法を見直すことも必要と思う。

基本目標2：香芝への新しいひとの流れをつくる

- ・「市民協働まちづくりイベントの実施」事業について、令和2年度の進捗が「遅れている」となっているが、担当課総括結果がAとなっており、各年度の進捗と連動しておらずわかりにくい。今後の進捗確認においては、担当課の主観が入らない評価指標にしていきたい。
- ・「合同企業説明会参加により市内企業に就職した人の数」については、そもそも高校や大学、ハローワーク、民間企業等でも企業説明会等は開催されており、また、近年は求人が求職者を上回る売り手市場の傾向が続いていたこともあったため、市が実施する必要性はなかったように思う。平成28年以降は開催自体されていないが、KPIとしても項目から削除してもよかったのではないかと考える。KPIに関しては、定期的に見直しの機会を設けてもよいと思う。

基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・「学校教育環境整備事業」について、一人1台パソコンの整備等進捗を実感できる点もあるが、今後、継続的に質を上げていくための取り組みが必要と思われる。また、ICTを使いこなせる人とそうでない人のデジタル・ディバイド(情報格差)にも対策が必要と考える。
- ・「子育て支援事業参加者数」の指標について、H26年度以降減少傾向が続いており、子どもの人口減少が見込まれている中では、目標値の設定があまりにも高すぎると思われる。達成見込みのない目標をそのままにすることは、担当部局の士気に関わるので、目標値の変更については弾力的に扱い、変更案を当会議で審議するといった運用としてはどうか。

- ・「新生児訪問実施率」について、令和2年度では新型コロナウイルス感染症の影響も受け、実施率が低下したと思われるが、訪問することで虐待の予防や早期発見につながる場合もあると考えられるため、可能な限り注力いただきたい。
- ・「保育所待機児童数」について、直近3年間は0人という目標が達成されており、事業の成果が表れていると思うが、将来的には年度当初の5月1日時点だけでなく、年度途中の待機児童数も0人に維持できることを目標とし、働きやすい社会構築につなげていただきたい。

基本目標4：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ・「特定農地貸付事業」について、令和2年度の目標を「遊休農地解消1筆、面積1,000㎡」としていたのに対し、実績見込みは「面積200㎡」と目標を大幅に下回る結果となっているが、一方で、基本目標2「悠久の光」事業では、新しい品種の酒米を3,000㎡近く作付する予定をしている。この両事業は「遊休農地を減らす」という共通の目的を持っており、結果的には遊休農地の減少については目標を上回って達成していると考えられるので、双方の関連についての記載上の工夫が必要に思う。
- ・「防災意識啓発事業」について、「自助」や「共助」を行政ではない第三者的な立場から発信することは大切であり、防災リーダーの育成はそういう視点からも位置づけられると良いと思う。
- ・「防災用品等備蓄事業」について、新型コロナウイルスの影響により避難所の収容人数が少なくなることも考えられるので、自宅の家具を固定する設備や、在宅避難される方に対する助成等があれば、防災意識の醸成につながるのではないかと。
- ・「流域貯留浸透事業」について、事業化するため池の選定経緯や整備過程等を付近の住民に説明し理解してもらうことができれば、災害が起きた時のイメージを自分事として考えることができ、自助の促進につながるのではないかと。
- ・「要介護認定率」については、H25時点の14.1%からR2目標値14.4%を目指す指標であるが、実績値14.5%であるのに対して、未達成という評価になっている。高齢化に伴い増加する数値を抑制することを目標にした指標ということであるが、指標の推移を見ただけでは、その背景が読み取りにくいので改善が必要と思う。

全体総括

・しっかりとした進捗管理を進めているからこそ懸念されることが、KPIの自己目的化である。つまり、KPIを達成することが目的にすり替わらないように注意しなければならない。むしろ、KPIが達成できなかった時に、なぜ達成できなかったか、外部要因を受けたのか、またその状況変化にどのように対応できたか等の重要な要素が見えてくると考える。

・過去に設定した指標が有効であるか、ほかの指標は検討できないか、目標は達成されている場合にも本当に改善点はないか等、都度見直す機会をもつことで、真に目指すべきものを確認することができると思う。

・KPIの設定について、活動指標（アウトプット指標）だけでなく、成果指標（アウトカム指標）を設定できればなおよいと思う。長期・中期・短期という見方でも指標の立て方は変わってくると思うので、設定時にはしっかりと検討いただきたい。しかし実際のところは、成果指標は数値の把握が困難な場合もあるので、活動指標を柔軟に見直しながら活用し、自己評価していけばよいのではないかと考える。